

🌱 どんな人を対象としているの？

- ・エコビレッジをつくりたい人
- ・持続可能な暮らしを実践したい人
- ・地域おこしやまちづくりに取り組みたい人
- ・災害からの復興に取り組んでいる人
- ・企業を通して社会貢献したい人
- ・持続可能な社会づくりを目指す教育関係者
- ・その他、より良い未来をつくっていききたい人であればどなたでも！

🌱 木の花ファミリーの紹介

富士の麓の農的エコビレッジ。79名(2011年10月現在)のメンバーが、血縁を超えた大家族として暮らしています。1994年、静岡県富士宮市にて「木の花農園」として設立。以来17年間にわたり、無農薬有機農業での自給自足生活を続けてきました。メンバーは、田んぼや畑仕事の他、子育てや料理、家事、地域の便利屋、音楽活動など、それぞれの得意分野に応じて働き、収入を平等に分かち合っています。250種類の野菜やお米を栽培し、近隣及び全国に直販しています。またEM(有用微生物群)の活用や、玄米菜食による健康な食生活の実践などを通して、日本人平均の約3分の1の環境負荷(エコロジカル・フットプリント)による暮らしを実現しています。



🌱 NPO 法人 青草の会の紹介

人々が助け合って生きる調和した社会づくりを目指すNPO。国内各地のエコビレッジ作りへのサポートや、こころの病を持つ人たちの回復支援、有機農業の普及などの活動を、木の花ファミリーと共同で行っています。

🌱 講師紹介

木の花ファミリーで日々実践を続けているメンバーがプログラムの講師を務めます。主な講師は、古橋道代(グローバル・エコビレッジ・ネットワーク日本大使・理事)、古田偉佐美(木の花ファミリー創設者)、嵯峨美雅子(食養生・地球暦ナビゲーター、アーティスト)、内田達也(畑作全般担当)、北尾郷子(育苗担当)です。

また、ゲスト講師として、自然農法国際研究開発センターの石綿薫さん、地球暦研究家の杉山開知さん、テネモス国際環境研究会理事長の飯島秀行さんをお招きします。



古橋 道代



古田 偉佐美



嵯峨 美雅子



内田 達也



北尾 郷子



飯島 秀行



杉山 開知



石綿 薫

■ 開催日程

2012年1月13日(金)～2月11日(土):30日間

■ 開催場所

「木の花ファミリー」 <http://www.konohana-family.org/>
〒419-0302 静岡県富士宮市猫沢 238-1

※JR身延線・富士宮駅から車で15分(送迎あり)

※東京駅→富士宮駅間は直通の高速バスも運行されています。

■ 定員

15名(先着順:お早めにお申し込みください)

■ 参加費

 ※収入に応じて参加費が異なります(自己申告制)

①年収 400万円以上 22万円

②年収 200万円以上 20万円

③年収 200万円未満 17万円

*参加費には、受講料・宿泊費・食費が含まれます。

*部分参加のお申し込みは受け付けておりません。

*全プログラムの90%以上参加された方に、ガイア・エデュケーションより修了証書が発行されます。

*分割払いも可能です。ご希望の方はお問い合わせください。

*ご入金をもって正式な参加受付と致します。また、ご入金後の払い戻しについては応じ兼ねます。

■ お問い合わせ・お申し込み

NPO 法人 青草の会 E-mail:ede@konohana-family.org
TEL:0544-66-0250 FAX:0544-66-0810



青草の会



konohana family



Gaia education



GLOBAL ECOVILLAGE NETWORK



INTERNATIONAL ASSOCIATION FOR SUSTAINABLE DEVELOPMENT

主催: NPO 法人 青草の会 共催: 木の花ファミリー
後援: ガイア・エデュケーション/グローバル・エコビレッジ・ネットワーク

Ecovillage Design Education

エコビレッジ・デザイン・エデュケーション

この星の未来をつくる暮らしの学び

Venus

Mercury

Moon

Sun

Earth

受講生募集中

お早めにお申し込みください

開催地: 木の花ファミリー (静岡県富士宮市)

2012年1月13日(金)～2月11日(土)

わたしたちはすでに、「地球」というエコビレッジに暮らしています

わたしたちの暮らす星、地球。この青く美しい星には、その肌をベールのように覆う大気と、血液のように流れる水、そして生命を育む大地があり、まるでひとつの生き物のように宇宙の中に息づいています。地球に原初の生命が誕生したのが、約 38 億年前。その後、生命は多種多様に進化し、現在では 1000 万種を超える生物が花開いています。わたしたち人類もその生物のひとつ。生物たちは互いに助けあひながら、大きな生命の環を織り成しています。地球は最初から、「いのちの共同体」であり、エコビレッジなのです。

しかし人類は、いつしかその生命の一員であることを忘れ、「もっと豊かになりたい」という欲望のもと、過剰に生産・消費し、大量の廃棄物を生み出して、エコビレッジとしての地球のバランスを崩してしまいました。今こそ人類は、地球を壊すのではなく、そのバランスを取り戻し地球に奉仕する側へとその知性を進化させるときにきています。

調和した暮らしのありかたを学ぼう！



地球のバランスを取り戻していく上で大切なのは、一人ひとりのこころの変容。よりシンプルな暮らしの中で、自然とつながり共に助けあう幸せへとわたしたちがシフトしていけば、地球への負荷をずっと小さくすることができます。

こうした「コミュニティの幸せ」の秘訣は、調和的な人間関係。本プログラムでは、17 年間にわたり調和的な暮らしを実践している木の花ファミリーに滞在し、体験を通して自らの内なる成長を促していきます。

A Tree of Cosmic Wisdom

エコビレッジとは？

人も地球も共に幸せに生きるためのコミュニティ。環境破壊や人間疎外などの課題を包括的に解決する地域モデルとして、特に 90 年代以降、世界中で実践されるようになりました。

エコビレッジでは、有機農業の推進や自然エネルギーの導入、共同による子育てやソーシャルビジネス、アート活動など、様々な取り組みが展開されています。ゼロから作り上げるタイプもあれば、既存の地域を徐々にエコビレッジ化する場合もあり、サイズも 50 名～2000 名と多種多様です。

日本でも、都市と農村それぞれでエコビレッジの実践が始まっており、注目を集めています。

EDE (エコビレッジ・デザイン・エデュケーション)

世界のエコビレッジ関係者によって開発された、国際的な教育プログラム。持続可能なコミュニティをつくるための智慧と実践を、「環境」「経済」「社会」「世界観」の 4 つの側面から学ぶ 1 ヶ月間のプログラムです。これまで世界 23 개국で開催され、国連「持続可能な開発のための教育の 10 年」にも正式に参加しています。

学習内容は、「エコ建築」「コミュニティ銀行」「ファシリテーション」「精神性と社会変容」など様々ですが、実際にエコビレッジに滞在しながら、参加・体験型で学んでいくのが大きな特徴。今回の会場となる木の花ファミリーでは、17 年間にわたり無農薬有機農業による自給自足を実践しており、こうしたコミュニティの経験もじっくり学ぶことができます。

※本プログラムは、エコビレッジ教育者の国際組織「ガイア・エデュケーション」により、正式な EDE プログラムとして認証されています。



EDE は次の4科目から構成されています

● 環境

わたしたちの暮らし全体を、生態系と調和したものに変わるための技術と方法論を学びます。また自然から学び、オリジナルな方法を生み出していくための基礎と哲学を学びます。そしてコミュニティ全体を、ソフトとハードの両面から持続可能な形にデザインしていく力を身につけます。(テーマ:「エコ建築とその改修」「持続可能な食の生産」「適正技術」「自然再生と災害復興」など)

● 経済

貧困や環境破壊を作り出している今のグローバル経済の仕組みと限界を知り、そこからエコロジーと友愛の思想をベースにした「幸せの経済」へと転換する方法を学びます。健全なコミュニティの基盤をつくり、運営していくための経済活動や社会起業の方法についても学びます。(テーマ:「社会的企業とコミュニティビジネス」「コミュニティ銀行」「制度面と資金面の問題」など)

● 社会 (人間関係)

組織やコミュニティの中で、対立を乗り越え、互いの多様性を尊重し合いながら、信頼にあふれた人間関係を築くためのスキルを身につけます。そしてそれぞれの個性や能力を最大限活かしながら、調和したコミュニティを創り上げていく方法を生活体験を通して学びます。(テーマ:「円滑なコミュニケーション」「リーダーシップ」「合意形成とファシリテーション」「健康と癒し」など)

● 世界観

他の3科目すべての土台となる精神性と意識について探求します。持続可能な未来への道しるべとなるホリスティック(包括的)な世界観と、個人と社会が共に変容していくありかたを学びます。またコミュニティにおいてどのように優れた芸術や文化を生み出していかを学びます。(テーマ:「自然の声に耳を傾け、つながろう」「気づきと意識の転換」「創造性と芸術」「宇宙意識と地球曆」など)

※カリキュラムはこちらから無料ダウンロードできます。
<http://www.gaiaeducation.org/docs/EDEJapanese.pdf>